

「産科婦人科用語集・用語解説集 次回改訂へのご意見募集（女性ヘルスケア分野）」

平成30年5月、改訂第4版産科婦人科用語集・用語解説集が発売されました。

今回の改訂における重要な作製課題として、日本産科婦人科学会産婦人科専門医サブスペシャリティの4つ目の柱として認定されました女性医学分野用語の充実が挙げられ、女性ヘルスケア分野は、日本女性医学学会より選任されました7名の担当委員を中心として作製しました。

女性ヘルスケア分野は、皆様ご存じのように、いわゆる周閉経期から老年期にかけての心身の変化に対応する更年期医学を中心としていましたが、これに加えて、初経から性成熟期にかけての諸問題を扱う思春期医学、感染症、子宮内膜症、婦人科疾患（良性・悪性）治療がおよぼす身体的影響への対応、子宮脱などの骨盤臓器脱や尿失禁・過活動性膀胱といった女性下部尿路症状、性機能障害、アスリートのヘルスケア、乳腺疾患管理なども扱い女性のヘルスケア全般を扱い広範囲を網羅し、関連する指針は、『ホルモン補充療法ガイドライン』、『OC・LEPガイドライン』、『女性アスリートのヘルスケアに関する管理指針』などがあります。

更に、女性医学用語は、泌尿器科、内科、心療内科、精神科、思春期、東洋医学など多くの他関連学会との相互的な内容も含まれます。

これらを踏まえ、今回の改訂版の新規語として、「アスリートの三主徴」、「サルコペニア」、「フレイル」、「セクシャル・マイノリティ」、「LGBT」「男女雇用機会均等法」、「老人保健法」、「労働基準法」などの最新用語を多数掲載しております。

医学用語辞書における用語内容は、日進月歩し診療使用は勿論のこと、ガイドライン、必修知識、試験問題などのベースとなるものであり、時代に応じた内容の正確性・充実が求められます。そのため、用語辞書作成には、用語収載有無を検討する時間、用語の解説内容の充実のため精査する時間、学会員のコンセンサスを得る時間等が必要です。

日本産科婦人科学会においては、次回改訂にむけ早期に動き出すことが推測されます。

本会の対応として、女性医療推進委員会内に用語小委員会を立ち上げ、準備に取りかかることとしました。

用語小委員会としましては、その第1弾とし、次回改訂に向けて、会員の皆様より、「今回の改訂版に対するご意見」、「次回改訂版希望用語」、「用語解説に対する今後の本学会がすべき活動」などについて、ご意見をいただきたくご連絡させていただきました。

つきましては、下記 URL より回答ページへアクセスしてご回答入力していただけますと幸いです。

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/enquete/answer/Answer.htm?cmd=new&eid=cgw3wjmkelj52k0lg6aqai40>

なお、Web 上での回答が難しい方は、学会事務局へアンケート回答用紙での回答希望の旨をご連絡ください。

回答期限は、2018年12月31日（月）までといたします。

多くの会員の皆様のご意見をお待ちしております。

一般社団法人日本女性医学学会 女性医療推進委員会